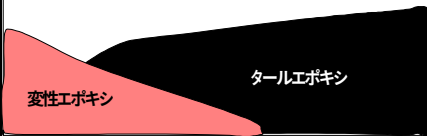
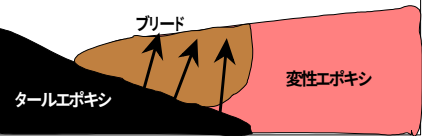


***** 変性エポキシとタールエポキシの

塗りつきについて *****

変性エポキシとタールエポキシの塗りつきは、下記表の通り、仕様A（変性エポキシの上にタールエポキシが重なる系）で実施してください。

もし、仕様B（タールエポキシの上に変性エポキシが重なる系）で塗装されると、下記表の通りブリード・変色・ワレなどの塗膜異状が発生すると考えられます。これは下になるタールエポキシのタール成分が上の変性エポキシの溶剤に侵されて移行するもので、塗装後初期にはブリードをおこし、又、経時においては変色したり、ワレをおこしたりする場合も考えられます。

仕 様	仕様 A＝変性エポキシ＋タールエポキシ	仕様 B＝タールエポキシ＋変性エポキシ
仕様 可・否	○	×
各々の塗装系において発生する異状現象		
塗装後 初期塗	異常なし	ブリード
装後 経時	異常なし	変色 ワレ(クラック)

以上